

1 大会の記録 中学生15人

学年	氏名	学校	通信陸上名古屋地区予選 6/18(土)、19(日)		第49回全日本中学校陸上競技選手権大会 標準記録突破指定大会 6/26(日)	自己ベスト記録									
			100m	145m		200m	400m	800m	1500m	走幅跳	グ	ハ	400mR		
4096	1年 スズキ ハナ 鈴木 暖奈	神の倉	1年100m 14"06(-0.7)			13"68		29"07				4m38		54"39	総体県
4097	1年 ハン ナミ 番 葉々美	植田	1年100m 14"54(-1.3)			14"36	21"23	30"49				4m16		54"39	総体県
4098	1年 マツダ 7林 松田 晃歩	桜山				15"69		33"03							
	1年 村ノ ノゾミ 岡野 希海	沢上													
4742	1年 サウ ジン 佐藤 仁	滝の水	1年100m(新) 13"09(+1.0)	1年1500m(新) 5"07"12		13"09		27"80			5"07"12				
4743	1年 へかり ミト 長谷川 凌人	津賀田	200m 30"89(-0.6)	100m(新) 14"25(+1.6)		14"25	21"80	30"28						56"80	
4745	1年 トウ ケイジ 武藤圭史朗	東陵	1年100m 13"59(-1.5)			13"46					4m67			50"33	
4094	2年 大野 世奈	川名	200m(2位) 26"98(-1.0)	2年100m(1位) 12"95(-1.3)	100m予選 13"23(-2.6)	100m決(6位) 13"12(-2.2)	12"63	18"94	26"57	62"29		4m82		54"16	県大会
4095	2年 ヤマカ ノエル 山中ノエル	大江					14"36	22"18	31"89						県通信
4739	2年 大村 海慳	千種	200m 24"58(-0.8)	2年100m(6位) 11"96(+0.2)			11"52	17"33	24"41			4m20		48"31	県大会 県JO
4740	2年 ミノ 加キ 水野 和生	津賀田	200m(新) 26"65(-1.2)	2年100m 13"18(+0.5)			13"04	18"92	26"65			4m51		50"33	
4741	2年 森 光輝	桜田	2,3年1500m(新) 4'54"15				13"82	20"96	29"35	61"49	2'22"27	1500m 4'54"15		54"16	
4744	2年 ミナモト ユウト 水草 優斗	天白	200m 28"63(-1.3)	2年100m(新) 13"20(-0.4)			13"20	27"53			3000m 10'49"44			50"33	
2760	2年 竹村 太雅	山王													
4093	3年 横山 清花	桜山	200m DNS	3年100m 13"26(+1.5)			13"00	19"67	28"00					52"75	県大会
4376	7年 高羽 克尚											走高跳 1m80			

2 クラブ新記録(今年は何人できるかな? 楽しみだ。)

達成日	種目	選手氏名	記録
①		なご陸記録に挑戦しよう	
②		3年女子100m 12"40 200m 26"03	
③		2年男子100m 11"27 200m 23"10	
④		2年女子100m 12"51 200m 26"47	
⑤		1年男子100m 11"53 200m 23"83	
		1年女子100m 12"63 200m 26"56	
		共通800m 2'06"75	
		1年走幅跳男子5m92 女子4m99	

通信陸上愛知県大会参加標準記録

* ()は標準記録を突破しているクラブ員

3年100m	男子11"80	女子13"35(横山)
2年100m	男子12"20(大村)	女子13"55(大野)
1年100m	男子13"20(佐藤)	女子14"30(鈴木)
共通200m	男子24"20	女子27"70(大野)
共通400m	男子55"00	
共通800m	男子2'09"50	女子2'27"50
共通1500m	男子4'25"00	女子5'00"00
共通3000m	男子9'40"00	
共通110mH	男子17"20	
共通100mH	女子16"85	
共通走高跳	男子165	女子145
共通走幅跳	男子570	女子465
1.2年4*100mR	男子46"50	女子52"90

3 OB、OG、元クラブ員の活躍から

インスタが更新されています。ぜひ皆さんも子供たちの生き生きした活動の様子をご覧ください。

4 コーチのひとりごと

一つ一つの大会には意味がある。もちろん今回の通信大会は県通信への出場を決めるという意味がある。自分の順位なり記録が一つ上の大会への参加につながる。でも、それだけではない。中には練習の一環で参加している人もいるはずだ。どこまで自分の技術を追求できているか。その状態を自分の足だけではなく、周りの選手の仕上がりで確かめることができる。よいタイムが出れば励みになり、次のレースへのモチベーションになる。うまくいかないときは少し落ち込みはするが、すぐ立ち直り、練習を工夫しはじめる。そんな前向きな気持ちを持ち、自分を高めようと努力することが陸上をやっている意味だとも言える。さて、3月の春休みから始めた中学生練習だが、基礎的な練習は、この6月で一段落。次は自分の専門を見つける段階に入る。もちろんそれは1種目ではない。強いて言うなら100mを専門種目ではなく基礎種目と考え、100mを極めつつ、そこから発展させて、いろいろな種目に挑戦してほしい。それが必ず近い将来君の強みになる。そしていちばん伸ばすことができた種目が、君の本当の専門種目になるのだ。